

### 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安全・安心な魅力ある木島平エコヴィレッジ・ゼロカーボン推進事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人太陽と水と緑のプロジェクト 飯山市飯山八坊塚 11492-114 長野事務所
事業区分	環境保全・景観に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,817,862 円 (うち支援金 : 1,408,000 円)

#### 事業内容

2050年までのゼロカーボンの実現に向けて、再生可能エネルギーへの村民の関心と理解を深める本事業は、木島平村との協働の取組みの中で、道の駅ファームス木島平に設置されたラミネーターを活かし、手づくり太陽光パネルの製作を、村民が村民に伝える形で広め、安全・安心な魅力ある木島平エコヴィレッジ・ゼロカーボン事業を推進することが課題である。具体的には、1)ラミネーターを有効に活用する具体例を示すこと、2)小太陽光発電と超小水力発電の普及に主体的に取り組む若い世代を育てること、3)雪国にはむかないという太陽光発電を積雪地域で普及する道筋を確立すること、4)全電源喪失という緊急時に再生可能エネルギーで命と暮らしを守る体制をつくり備えることである。



[皆でマイパネルを作ろう]

#### 【目標・ねらい】

- ① ラミネーターの有効活用の具体例を示す
- ② 再生可能エネルギーを担う人材の育成
- ③ 積雪地域の太陽光発電の道筋を確立する
- ④ 全電源喪失時に命と暮らしを守る体制

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

① ラミネーターを活用し村民が村民に教えあう形で作り上げた太陽光パネルを村の展示館南に設置し独立型太陽光発電システムを広く見える形にした。② 村の中学校でもラミネーターを使い、自分のパネルを作り自分の家に設置し再生可能エネルギーを体験する世代が育っている。③ 学習会とワークショップを通じて、積雪時の発電量を意識して消費量を考えることで、積雪地域でも太陽光発電の活かすことへの理解が広まり、普及への道筋を確立した。④ 災害時に全電源が喪失しても、村の中で10軒に1軒の割合で、スマホ等に充電できる村になり、村の展示館で必要最低限の100Vの家電製品も使うことができるようになった。

#### ※自己評価【A】

【理由】村民が自分達で太陽光パネルを作成し村の施設に取り付け、独立型太陽光発電を進めた事業はこれまで聞いたことがない。中学生がマイパネルに取り組んだ授業は全国に例がない。脱炭素社会へ再生可能エネルギーに取り組む若い世代を育成する村として高く評価される。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

木島平村は、過去3年間の事業を通して、再生可能エネルギーへの村民の関心と理解が数段も高まった。特に、ラミネーターが道の駅に設置され、村民が自らの手で太陽光発電を作れる村になった。使用の目的に合わせて電圧と電流をデザインできる太陽光パネルを作れるラミネーターとそれを活かせる人材がそろった村は全国的に例をみない「世界に誇れるエコヴィレッジ」となった。今後は、「10Wの小さな形の独立型太陽光発電」を家庭が財政力に応じたできる形で「数1000W以上のレベル」にもう一段階引き上げて、再生可能エネルギーで各家庭の電気使用量の半分以上を賄うことで、二酸化炭素の排出量を半分にできるか、その実例を雪国の特性を活かした形で、推進することを計画している。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある